

高木耕一郎

1974年、東京都生まれ。「違和感」をテーマに、現実と空想、現在と過去を交錯させた独自の世界観を描くアーティスト。スナップ写真を思わせる静的な人物やモチーフと、鮮やかで人工的な色彩を組み合わせ、日常の中に潜む不可思議な感覚を表現している。サンフランシスコでシルクスクリーンを中心に版画を学んだ後、ニューヨークでペインティングへと活動を広げ、2005年に帰国。以降、国内外で個展やグループ展を開催するほか、イラストレーションやステンシル、グラフィックデザインなど幅広く活動し、Paul SmithやBEAMSなどにも作品を提供している。GALLERY TARGETでは2021年に個展「STRANGE SPOTS」を開催。Maki Galleryでは2024年に個展「THE WORLD WITHIN」を開催。絵画や版画に加え、立体作品やインスタレーションなど多様な表現を通して、「違和感」を起点とした独自の世界を展開している。